

# << 注 意 報 >>

岡 病 防 第 14 号  
令和 2 年 7 月 29 日

各 関 係 機 関 長 殿

岡山県病害虫防除所長

## 病害虫発生予察情報の発表

病害虫発生予察注意報第 4 号を下記のとおり発表したので送付します。

### 令和 2 年度病害虫発生予察注意報第 4 号

令和 2 年 7 月 29 日  
岡 山 県

#### 病害虫名 **イネいもち病(葉いもち、穂いもち)**

1. 発生が予想される地域 県内全域
2. 発生が予想される時期 8 月上旬以降
3. 予想される発生量 多
4. 注意報発表の根拠
  - (1) 県病害虫防除所が行った 7 月 27～28 日の巡回調査(30 地点、90 圃場)によると、**県内全域の葉いもちの発生圃場率は 63.3%と平年(30.2%)より高かった。**
  - (2) 県病害虫防除所は、令和 2 年 7 月 14 日付けで葉いもちを対象にした植物防疫情報第 4 号を発表し、早期発見と防除の徹底を呼びかけているが、葉いもちが県内で広域に発生しており、多発している圃場も見られ、今後、葉いもちのさらなる被害拡大や、穂いもちを助長する恐れがある。
  - (3) 広島地方気象台 7 月 23 日発表の季節予報によると、向こう 1 か月の気温はほぼ平年並で、降水量は平年並または多く、日照時間は平年並または少ないとされており、発病をやや助長する条件となる。
5. 防除対策及び防除上の参考事項
  - (1) 既に葉いもちが発生している圃場では、液剤または粉剤を直ちに散布する(表 1)。極早生種や早生種などでは 7 月下旬から出穂期を迎えており、出穂直前の穂いもち防除に加え、穂首出揃期の 2 回行う。さらに、多発が予想される場合は傾穂期にも追加散布を行う(表 1)。なお、粒剤の場合は、出穂期前までに散布するが、薬剤によって施用時期が異なるので注意する(表 2)。
  - (2) 出穂前の稲体の窒素過多は、穂いもちの発生を助長するので、穂肥の施用時期及び量に注意する。
  - (3) 本県ではストロビルリン(QoI)系の薬剤に対する耐性菌の発生が確認されているため、防除効果の低下が確認されない場合でも、本剤(殺菌剤コード:11)の使用は最大で年 1 回とする(表 2)。
  - (4) 薬剤の使用に当たっては、農薬使用基準を厳守し、人畜、水産動物等への危害防止に努め、安全

・適正に使用するとともに、周辺農作物等へ飛散しないよう十分注意する。なお、**収穫期が近い場合の薬剤散布は、特に農薬使用基準の収穫前日数をよく確認**して行う。

- (5) 飼料用米、WC Sについては、「飼料として使用する粳米への農薬の使用について」、「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」等に沿って適切な農薬を選択し、適期防除に努める。
- (6) 最新の農薬登録情報は、独立行政法人農林水産消費安全技術センターホームページ (<http://www.acis.famic.go.jp/searchF/vt11m000.html>) で確認できる。

表1 主な本田防除粉剤及び液剤（下記単剤の他下記成分を含む混合剤）

薬剤名	農薬使用基準			殺菌剤コード <sup>注)</sup>
	散布量・希釈倍数	時期	本剤の使用回数	
トライフロアブル	1,000倍	収穫14日前まで	2回以内	U16
フジワン乳剤	1,000倍	収穫14日前まで	2回以内	6
ビーム粉剤DL	3～4 kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	16.1
ビームゾル	1,000倍			
ダブルカットフロアブル	1,000倍	穂揃い期まで	2回以内	16.1+24
ラブサイド粉剤DL	3～4 kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	16.1
ラブサイドフロアブル	1,000～1,500倍			
ブラシン粉剤DL	3～4 kg/10a	収穫7日前まで	2回以内	16.1+U14
ブラシンフロアブル	1,000倍			

注) FRACコードによる農薬有効成分の作用機構の分類

※「ビーム粉剤DL」、「ビームゾル」と「ダブルカット」は同一成分を含むため散布回数に注意すること。

「ラブサイド粉剤DL」「ラブサイドフロアブル」と「ブラシン」は同一成分を含むため散布回数に注意すること。

表2 主な本田防除粒剤（下記単剤のほか下記成分を含む混合剤）

薬剤名	農薬使用基準			殺菌剤コード <sup>注)</sup>
	散布量・希釈倍数	時期	本剤の使用回数	
オリブライト1 <sup>※</sup> 粒剤	1 kg/10a	出穂10日前まで (但し収穫45日前まで)	1回以内	11
オリブライト250G	250g/10a			
オリゼメート粒剤	3～4 kg/10a	葉いもちには初発10日前～初発時 穂いもちには出穂3～4週間前 (但し収穫14日前まで)	2回以内	P2
ゴウケツ粒剤	3～4 kg/10a	出穂5日前まで (但し収穫30日前まで)	1回以内	16.3
サンプラス粒剤				
ゴウケツパック				
サンプラスパック	小包装(パック)10個(450g)/10a			
コラトップ粒剤5	3～4 kg/10a	葉いもちには初発10日前～初発時 穂いもちには出穂30～5日前まで	2回以内	16.1
コラトップジャンボP	小包装(パック)10～13個(500～650g)/10a	葉いもちには初発20日前～初発時 穂いもちには出穂30～5日前まで		
フジワン粒剤	3～5 kg/10a	葉いもちには初発7～10日前 穂いもちには出穂10～30日前 (但し収穫30日前まで)	2回以内	6
フジワンパック	小包装(パック)10～15個(750～1,125g)/10a	葉いもちには初発7～10日前 穂いもちには出穂10～30日前 (但し収穫14日前まで)		

注) FRACコードによる農薬有効成分の作用機構の分類

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。  
アドレスは、<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/239/> です。

